

第2回 セカンドオピニオン会開催報告

● 開催日時：平成 16 年 8 月 22 日（日） 13:00～16:30

● 会場：大森 東急イン 白鳥の間

● 参加者の症例紹介

| No. | 年齢 | 手術 | | 病理組織検査結果 | | | | | 再発 / 転移 | | |
|-----|------|-----------------------------|------------|--|------|--------------|-----------|----------|---------|---|-----------------|
| | | 年 | 方法 | 種類 | グレード | リンパ節転移 | ホルモンレセプター | HER2/neu | 有無 | 年 | 部位 |
| 1 | 38 歳 | 2004 年 2 月 (平成 16 年) | 乳房温存 | 非浸潤がん | 1 | | 陽性 | 3+ | 無 | - | - |
| 2 | 44 歳 | 1999 年 7 月 (平成 11 年) | 非定型 | 硬がん | | 有 (2/22) | 陽性 | 3+ | 有 | 2003 年 6 月 (平成 15 年) | 骨 |
| 3 | 43 歳 | 2001 年 8 月 (平成 13 年) | 乳房温存 | 乳頭腺管がん 浸潤性 小葉がん | 2 | 無 | 陽性 | | 無 | - | - |
| 4 | 53 歳 | 2000 年 6 月 (平成 12 年) | 非定型 | 硬がん | 2 | 有 (1/17) | 陰性 | | 有 | 2001 年 10 月 2003 年 12 月 2004 年 1 月 | 肝臓 骨 肝臓再発 |
| 5 | 59 歳 | 1996 年 (平成 8 年) | 非定型 右乳房 | | 3 | 有 (2/17) | 陰性 | 3+ | 有 | 2004 年 3 月 (平成 16 年) | 左乳房 (非定型) |
| 6 | 51 歳 | 2004 年 6 月 (平成 16 年) | 手術前 | マンモグラフィ：広範囲の石灰化 超音波：確定できない 乳管造影：石灰化の場所と乳管の関連を確認、位置的には関連がある 細胞診：IV マンモトーム：要経過観察 | | | | | | | |
| 7 | 58 歳 | 1990 年 5 月 (平成 2 年) | 非定型 | 硬がん | | 有 (1/17) | 陽性 | 0 | 有 | 2003 年 8 月 (平成 15 年) | 肺 |
| 8 | 56 歳 | 2004 年 4 月 (平成 16 年) | 手術前 | エコー：判断つかず マンモグラフィ：良性か悪性が判断不可、両側に石灰化あり | | | | | | | |
| 9 | 54 歳 | 2004 年 2 月 (平成 16 年) | 乳房温存 | 非浸潤がん | 1 | | 陰性 | | 無 | - | - |
| 10 | 38 歳 | 2002 年 2 月 (平成 14 年) | 乳房温存 | 乳頭腺管がん | | 有 (16/27) | 陽性 | 2+ | 有 | 2004 年 1 月 (平成 16 年) 2004 年 7 月 (平成 16 年) | 骨 肝臓 |
| 11 | 50 歳 | 2002 年 12 月 (平成 14 年) | 非定型 | 浸潤性 小葉がん | | 有 | 陽性 | 1+ | 有 | 2003 年 10 月 (平成 15 年) 2004 年 1 月 (平成 16 年) | 肝臓 骨 |

●ご協力いただいた医療機関と先生方●

【都立駒込病院】 戸井 雅和先生（外科部長）
 【埼玉県立がんセンター】 田部井敏夫先生（副院長・内分泌科）
 武井 寛幸先生（乳腺外科副部長）

| 受けた治療 | | | 質問事項 | 添付資料 |
|-------|--|---|--|------------------------------|
| 術前 | 術後 | 再発 / 転移後 | | |
| 無 | 放射線 ノルバデックス ツムラ 加味逍遙散 | - | <ul style="list-style-type: none"> ●ノルバデックス以外のホルモン剤 ●止めた後の治療法 | 別紙、病理報告書、診療情報提供書 |
| 無 | ニュープリン アフエマ エンドキサン フルツロン ハーセプチン アリミデックス | 放射線 アロマシン アレディア カペシタビン | <ul style="list-style-type: none"> ●ホルモン剤 ●抗がん剤の有効性 ●緩和医療 | 別紙、臨床検査報告書、放射線診断書、フィルム |
| 無 | 放射線 CMF ノルバデックス | - | <ul style="list-style-type: none"> ●今までの治療法 ●再発転移の可能性 ●その場合の治療法 | 別紙、診療情報提供書、病理診断書、細胞診検査書、フィルム |
| 無 | UFT + TAM | タキソール ハーセプチン 放射線 アレディア オキシコンチン | <ul style="list-style-type: none"> ●骨転移の治療法 ●オキシコンチンを止める方法 ●心臓に負担をかけない治療法 ●現在の状態を知りたい | 別紙、病理診断書、CT 検査報告書 |
| 無 | 5FU ノルバデックス | ファルモルピシン エンドキサン | <ul style="list-style-type: none"> ●抗がん剤追加の必要性 | 別紙、病理診断書、診療情報提供書、フィルム |
| - | - | - | <ul style="list-style-type: none"> ●石灰化とはどういう状態か ●一般的ながんとの違い ●手術法、手術時期、リンパ節郭清 ●治療と健康食品との併用 | 別紙、病理診断書、細胞診検査書、フィルム |
| 無 | 不明 | タキソール ファルモルピシン アリミデックス | <ul style="list-style-type: none"> ●今後の治療 ●治療しなくても寿命が変わらないか | 別紙、病理診断書、他検査書、フィルム |
| - | - | - | <ul style="list-style-type: none"> ●他の検査法とその危険性 ●放射線の危険度 ●がんと共存 | 別紙 |
| 無 | 断片 (+) 再手術を勧められているが経過観察中 | - | <ul style="list-style-type: none"> ●非浸潤がんの進行の仕方 ●受け止め方、治療法 ●受診が必要な症状 | 別紙、病理組織報告書、画像診断報告書 |
| 無 | EC 4回 ニュープリン ノルバデックス | 放射線 タキソール ハーセプチン | <ul style="list-style-type: none"> ●今後の治療 | 別紙、経過報告書、病理組織報告書、CT 報告書、フィルム |
| タキソール | 抗がん剤 ノルバデックス | 血管内治療 アレディア 経口フルツロン 経口エンドキサン ヒスロン | <ul style="list-style-type: none"> ●今受けている治療は適切か ●足の痛みを取る方法 ●何か良い治療法はないか（自由診療を含めて） | 別紙、診療情報提供書、フィルム |